

評価の出し方について

絶対評価

各教科に設定された、目標に対しての達成度を評価し、それから評定を出しています。

評価は、A、B、Cの三段階です。これは、各教科により目標・評価方法等が異なるので一概にいえませんが、一定の割合で付けています。つまり、目標に対して、80%以上の達成率でA。50%から80%までがB。50%未満がC。というように付けています。それらを総括して評定がつきます。

達成率	50%未満	50%以上80%未満	80%以上
評価	C	B	A

以前は人数の割合で評定がついていました。これが、相対評価というものでした。この利点は、全体の中で自分がどのくらいの位置にいるかが理解できることです。

それに対して、現在の評価評定は、一定の割合ではなく、目標に見合った評価評定がつきます。これが絶対評価です。絶対評価の利点は、自分が努力したことが成績に反映されるということです。

1 成績算出の具体的な流れ

① 観点毎に評価資料の収集

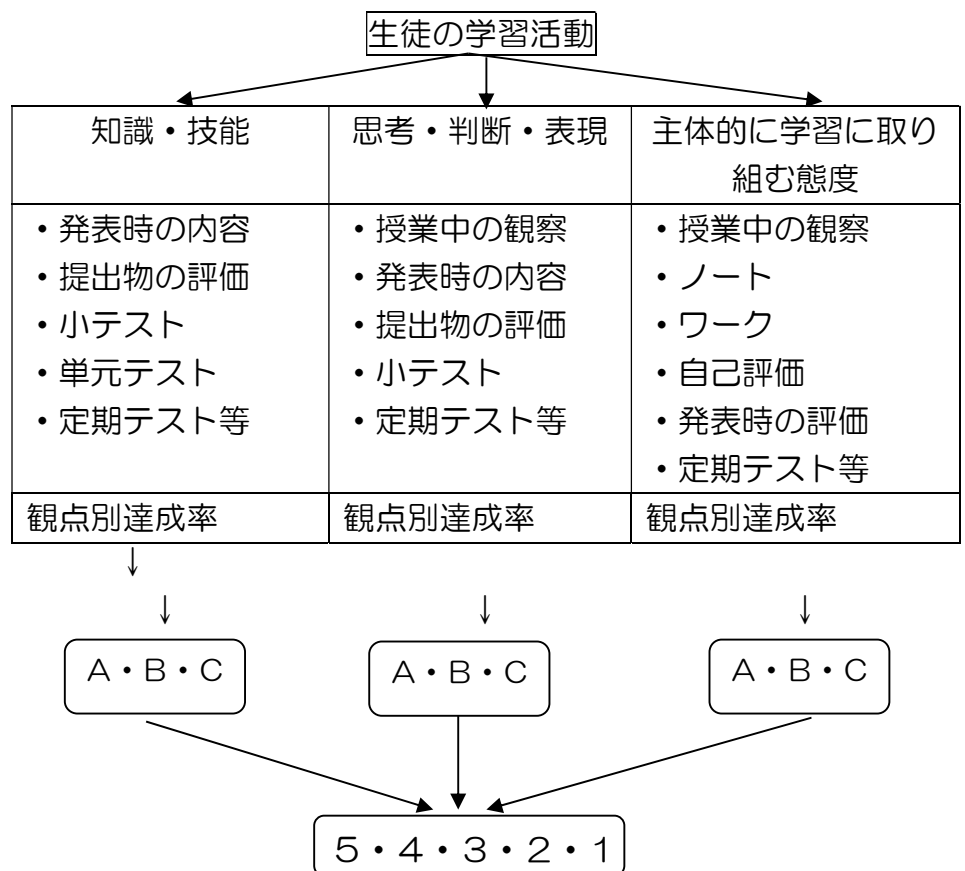
定期テストの他に授業中のいろいろな場面で、観点毎に評価

② 各観点の評価

十分満足できる	A
概ね満足できる	B
努力を要する	C

③ 評定への総括

特に程度の高いもの	5
十分満足できる	4
概ね満足できる	3
努力を要する	2
いっそうの努力を要する	1



2 評価・評定への総括

①評価への総括

各観点毎の達成率で評価への総括を行います。

『十分満足できる』：達成率80%以上……………A

『概ね満足できる』：達成率80未満～50%以上…B

『努力を要する』：達成率50%未満……………C

②評定への総括

各教科の達成率で評定への総括を行います。

『十分満足できるうち特に程度の高いもの』：達成率90%以上…5

『十分満足できる』：達成率90未満～80%以上…4

『概ね満足できる』：達成率80未満～50%以上…3

『努力を要する』：達成率50未満～20%以上…2

『いっそうの努力を要するもの』：達成率20未満……………1

③評価・評定例

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
得点/満点	84/100	76/100	92/100
観点別達成率	84%	76%	92%
観点別評価	A	B	A
教科の達成率	$(84+76+92) \div 3 = 84\%$		
教科の評定	A - B - A の 4		

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
得点/満点	82/100	54/100	84/100
観点別達成率	82%	54%	84%
観点別評価	A	B	A
教科の達成率	$(82+54+84) \div 3 = 73\%$		
教科の評定	A - B - A の 3		

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
得点/満点	98/100	78/100	95/100
観点別達成率	98%	78%	95%
観点別評価	A	B	A
教科の達成率	$(98+78+95) \div 3 = 90\%$		
教科の評定	A - B - A の 5		

A - A - A ならば 4か5

B - B - B ならば 3

C - C - C ならば 2か1になります

音楽の評価例

観点1 100点

- ①実技テスト 10点×5倍=50点
- ②鑑賞のプリント（知識） 5点×4倍=20点（A=5点 B=3点 C=1点）
- ③期末考査（知識） 30点 =30点

観点2 100点

- ①期末考査（思考・判断） 50点
- ②実技テストのプリント（工夫） 5点×6倍=30点（A=5点 B=3点 C=1点）
- ③歌詞のイメージ画（感受） 20点

観点3 100点

- ①期末考査（主体） 20点
- ②実技テストのプリント（反省） 5点×6倍=30点（A=5点 B=3点 C=1点）
- ③夏休み宿題まとめ 20点
- ④鑑賞のプリントまとめ 5点×6倍=30点（A=5点 B=3点 C=1点）

→計300点満点

期末考査は300点中の100点

実技テストはプリント含めて110点

その他のワークシートが90点

90%の270点以上で評定5

80%の240点以上で評定4

50%の150点以上で評定3

3. 各教科等における目標と評価の観点

<国語>

1 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝える力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化にかかわり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語について、その特性理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

<社会>

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
- (2) 社会的事情の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会の事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 評価の観点の趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べてまとめている。	社会的事情の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会の事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

<数学>

1 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けようとする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したり技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。

<理科>

1 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に指針に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然の事物・現象について基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

<音楽>

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的に見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながら、よさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

<美術>

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かにかかわる資質・納涼を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

<保健体育>

1 教科目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として据え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に取り組もうとしている。

<技術・家庭>

1 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動をとおして、よりよい生活の実現や維持可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 生活や技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や維持可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活や技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や維持可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

<外国語>

1 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。